

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成 30 年 1 月 日

計画の名称	春日西部地区の公共施設の整備による快適な生活環境の向上														
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度（5年間）					交付対象	愛知県清須市								
計画の目標	<p>都市計画マスタープランにおいて、「安全でゆとりある居住環境の形成」「自然と共生した暮らしやすい自然環境の形成」「誰もが快適に利用できる交通環境の形成」「まちを牽引する産業環境の形成」が都市づくりの目標に掲げられている。このうち、次の3つを春日西部地区の目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全でゆとりある居住環境の形成 ・自然と共生した暮らしやすい自然環境の形成 ・誰もが快適に利用できる交通環境の形成 														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・消防活動困難区域率を32%（H24）から0%（H28）へ低減する。 ・公園の利用しやすさを0人（H24）から318人（H28）へ向上する。 ・下水道普及率を0%（H24）から100%（H28）へ向上する。 														
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値			備考					
							当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)						
① 消防活動困難区域率 (区画整理施行地区内の消防活動困難区域率) = (区画整理施行地区内の消防活動困難区域の面積) / (区画整理施行地区面積)							32%	32%	0%						
② 公園利用可能人口の増加 (公園利用可能人口) = (公園の誘致距離内の人口)							0人	0人	318人						
③ 下水道普及率 (区画整理施行地区内の下水道普及率) = (区画整理施行地区内の下水道供用開始区域の面積) / (区画整理施行地区面積)							0%	0%	100%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	844百万円	A	829百万円	B	0	C	15百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.78%					
事後評価（最終評価）															
○事後評価（最終評価）の実施体制、実施時期															
事後評価（最終評価）の実施体制						事後評価（最終評価）の実施時期									
清須市において実施						交付期間終了後（平成29年4月） 公表の方法 ホームページに掲載									
1. 交付対象事業の進捗状況															
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	都市再生整備計画	一般	清須市	直接	清須市	春日西部地区都市再生整備計画事業	道路、土地区画整理等 170ha	清須市						666	
1-A-2	都市防災	一般	清須市	直接	清須市	管渠整備（春日処理分区）	汚水管 φ=150～200mm A=10.54ha	清須市						163	
合計											829				
B 関連社会資本整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
合計															
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	下水道	一般	清須市	直接	清須市	管渠整備（春日処理分区）	污水管 φ=150～200mm A=2.63ha	清須市						15	
合計													15		
番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考	
1-C-1	基幹事業である污水管整備と接続した枝線整備を一体的に行うことで普及率の向上、環境負荷の低減を図る。														

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 区画整理の実施により、面的に道路が整備され、消防活動が円滑にできる環境が整った。 公園が不足する本地区において新たに公園を確保したことで、公園利用可能人口が増加した。 区画整理による道路整備に合わせて、下水道を整備し、順次供用開始を行っている。したがって、新たな宅地に対しては、普及率は100%となっている。 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（消防活動困難区域率）	最終目標値	0%	目標値と実績値に差が出た要因	—	
		最終実績値	0%			
	指標②（公園利用可能人口の増加）	最終目標値	318人	目標値と実績値に差が出た要因	—	
		最終実績値	373人			
	指標③（下水道普及率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	区画整理における道路整備と同調して下水道の整備を進めている。区画整理では、保留地販売や地権者対応などを踏まえて円滑な事業運営を行っている状況であることから、それに合わせた下水道整備となっている。なお、区画整理地区内の新規宅地に対する普及率は、100%となっている。	
		最終実績値	93.6%			
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）		—				

3. 特記事項（今後の方針等）

- まちづくり活動の継続。
- 区画整理外の市街化区域の狭隘道路に対する防災性や防犯性、生活環境の向上のための整備を検討。
- 市道下之郷六角堂線の整備に伴う新たな交通の流れに対する交通安全を確保するための施策を検討。
- 区画整理外の市街化区域のまちづくりのルールの検討。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	春日西部地区の公共施設の整備による快適な生活環境の向上	交付対象	清須市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成28年度 (5年間)		

